

議会モニターからのご意見・ご感想

前号でご紹介しました、今年度の「議会モニター」の皆様から寄せられたご意見、ご感想を紹介いたします。今回は、6月の第2回定例会、7月の臨時会および録画配信、前号の議会だより他についてのものとなっています。

いただいたご意見等を参考に、今後もより良い議会活動・運営につなげていきたいと思っております。

議会傍聴した感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会審査の傍聴ができることを町民に周知してほしい。決定への経緯は委員会の方がわかりやすい。委員会審査の際に、部外秘の情報の扱いで、「開かれた議会」「開かれた町政」といえるか疑問を持った。 ・一般質問の質疑を聞いて、限られた時間内で効率よく効果的に話すことを学んでほしい。
インターネット配信	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は音声・映像が途切れがちでしたが、改善されていると思う。 ・終了後すぐに見ることができ、活発な意見が出てよかった。
議会だより	<ul style="list-style-type: none"> ・総務産業常任委員会の意見：わかりやすくて良い。その後の進捗を知らせてほしい。 ・QRコード：サイトを探す手間が省ける。若い人たちの議会への興味もこのようなことで始まるのでは。 ・議員の顔と氏名、人柄がわかるページがあり親しみを感じた。 ・研修会に参加した感想や議員のひとことが載るコーナーがあると楽しい。 ・子供たちへも、学習できるようなアピールがあると嬉しい。
議会への意見・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・町民と懇談ができる井戸ばた会議の開催は意義あると思う。 ・少数の議員でも「出前議会」のような取り組みがあると、身近な課題を話したり、疑問に思うことを聞いたりしやすいと思う。 ・立場を超えて、いいもの・改善すべきものは超党派で議論してほしい。
政策・まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・議決された政策に対しては、議員も前向きな姿勢で取り組んでもらいたい。 ・「自分は賛成しなかった」という態度では、町民は一体どこを向いて未来に進めばよいのでしょうか。 ・町の総合計画・都市計画マスタープランとの整合性があるか、議員それぞれで分析してほしい。

総務産業常任委員会より

10/9・10 町内所管事務調査
10/23・24・25 町外所管事務調査

を実施しました。



※ 調査の詳細につきましては次号にてお知らせします。

編集後記

「原案通り可決」と報道されますが、決定に至るまでは、議会運営委員会や総務産業常任委員会に諮り、必要に応じ担当課の話を聞いた上で、本議会へ戻され採決します。

本会議で原案通り可決。となりますが提案前の議案と議決後の採択には、原案通りではない考え方が含まれています。それは意見として付されたり、担当課に申し入れたり。チーム議会として、行政の最適解を常に探りながら審議をしています。

議会最終日に総務産業常任委員会・委員長報告で委員会付託をされ審議された要旨が報告されますが、実際は本議会で審議されている何倍もの時間をかけて議論をしています。

議会の見えないところで前頭葉が熱くなるような論議がされ、議会で決定していくのです。

(小原)



議会広聴広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員長 中田 豪之助
副委員長 小原 仁興
委員 我孫子 洋昌